大分工業高等専門学校	開講年度	令和06年度 (2024年度)	授業科目	保健・体育

科目基礎情報

科目番号	R06C307	科目区分	一般 / 必修
授業形態	実技	単位の種別と単位数	履修単位: 2
開設学科	都市･環境工学科	対象学年	3
開設期	通年	週時間数	2
教科書/教材	（参考図書）秋山兼範, 麻生紘二ほか，「最新スポーツルール」，大修館書店		
担当教員	川内谷 一志,大庭 恵一,安東 宏明		

到達目標

(1) 基礎体力の維持・向上を目標とする．（ゲームと記録）
(2) 体育実技で行った運動種目のルールを正確に理解し，ゲームを楽しむことができるようにする．（ゲーム）

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
目的・到達目標(1)の評価指標	あらゆる運動に必要な基礎体力を身につけている.	運動をある程度行うための基礎体力を身につけている.	運動を行うための基礎体力がみについていない.
目的・到達目標(2)の評価指標	体育実技で行うスポーツのルールを十分に理解し，積極的にゲームを楽しむことができる.	体育実技で行うスポーツのルールをある程度理解して，ゲームを楽しむことができる.	体育実技で行うスポーツのルールを理解できず，ゲームを行うことができない.

学科の到達目標項目との関係

学習・教育目標 (A1) 学習・教育目標 (B1)

教育方法等

概要	スポーツテスト（運動能力テスト，体力診断テスト）を実施して，個人の体力を把握させる. 陸上競技および水泳の技能を向上させ，対人的技能（ソフトテニス，柔道，バドミントン），集団的技能（バレーボール，サッカー，バスケットボール）を高いレベルで遂行可能となるようにする. （科目情報） 前期1 コマ，後期1 コマ 関連科目　保健・体育（2 年，4 年）
授業の進め方・方法	到達目標の(1)と(2)に沿って，実技を実施する. （事前学習） 授業で行うスポーツのルールを調べておく.
注意点	（履修上の注意） 授業は，学校指定の体操服・運動靴・体育館シューズで行う. （自学上の注意） 授業で行うスポーツのルールを調べておく.

評価

(総合評価)
総合評価＝授業で行った各種目の実技点の平均
総合評価は，前期評価と後期評価を平均して評価する.
（単位習得の条件）
総合評価６０点以上を合格とする.
(再試験について)
再試験は実施しない.

授業の属性・履修上の区分

☐ アクティブラーニング	☐ ICT 利用	☐ 遠隔授業対応	☑ 実務経験のある教員による授業

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	バレーボール①	個人技能の習得後，ゲームによるルール・審判法を習得する.
		2週	バレーボール②	個人技能の習得後，ゲームによるルール・審判法を習得する.
		3週	バレーボール③	個人技能の習得後，ゲームによるルール・審判法を習得する.
		4週	バレーボール④	個人技能の習得後，ゲームによるルール・審判法を習得する.
		5週	スポーツテスト	運動能力テスト（50m，立幅跳，ハンドボール投，持久走）を正確に実施する.
		6週	スポーツテスト	体力診断テスト（握力，反復横跳び，長座体前屈，上体起こし）を正確に実施する.
		7週	陸上競技①	走高跳の技能を習得し，記録を測定する.
		8週	陸上競技②	走高跳の技能を習得し，記録を測定する.
	2ndQ	9週	（前期中間試験）	
		10週	陸上競技③	三段跳の技能を習得し，記録を測定する.
		11週	陸上競技④	三段跳の技能を習得し，記録を測定する.
		12週	陸上競技⑤	円盤投の技能を習得し，記録を測定する.
		13週	卓球①	個人技能の習得後，ゲームによるルール・審判法を習得する.
		14週	卓球②	個人技能の習得後，ゲームによるルール・審判法を習得する.
		15週	（前期末試験）	
		16週	（前期末試験の解答と解説）	

後期	3rdQ	1週	柔道①	個人技能を習得後，約束練習や簡易試合を行い，ルール審判法を習得する.
		2週	柔道②	個人技能を習得後，約束練習や簡易試合を行い，ルール審判法を習得する.
		3週	柔道③	個人技能を習得後，約束練習や簡易試合を行い，ルール審判法を習得する.
		4週	サッカー（男子）① ソフトテニス（女子）①	個人技能の習得後，ゲームによるルール・審判法を習得する.
		5週	サッカー（男子）② ソフトテニス（女子）②	個人技能の習得後，ゲームによるルール・審判法を習得する.
		6週	サッカー（男子）③ 硬式テニス（女子）①	個人技能の習得後，ゲームによるルール・審判法を習得する.
		7週	サッカー（男子）④ 硬式テニス（女子）②	個人技能の習得後，ゲームによるルール・審判法を習得する.
		8週	バスケットボール①	個人技能の習得後，ゲームによるルール・審判法を習得する.
	4thQ	9週	（後期中間テスト）	
		10週	バスケットボール②	個人技能の習得後，ゲームによるルール・審判法を習得する.
		11週	バスケットボール③	個人技能の習得後，ゲームによるルール・審判法を習得する.
		12週	バドミントン①	個人技能の習得後，ゲームによるルール・審判法を習得する.
		13週	バドミントン②	個人技能の習得後，ゲームによるルール・審判法を習得する.
		14週	バドミントン③	個人技能の習得後，ゲームによるルール・審判法を習得する.
		15週	（学年末試験）	
		16週	（学年末試験の解答と解説）	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
分野横断的能力	態度・志向性(人間力)	態度・志向性	態度・志向性	自らの考えで責任を持ってものごとに取り組むことができる。	3	前13,前14,後12,後13,後14
				目標の実現に向けて計画ができる。	3	前5,前6,前7,前8,前10,前11,前12
				社会の一員として、自らの行動、発言、役割を認識して行動できる。	3	前1,前2,前3,前4,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後10,後11

評価割合

	実技	合計
総合評価割合	100	100
基礎的能力	100	100
専門的能力	0	0
分野横断的能力	0	0